

## 思いが報われるまで

喜多方市立高郷中学校 三年 長水 咲樹

皆さん、皆さんは自分の故郷が好きですか。私は大好きです。そんな大好きな故郷では春と秋にクマが頻繁に出没します。毎日のように聞くクマの情報は怖いものばかりです。怪我をしたという話も聞きます。

でも私はクマの方が悪いとは決して思いません。なぜならクマが住宅地の近くに出没するのは餌がなくなり、飢えてしまっているからです。そしてクマは人間にびつくりして攻撃してしまうのです。

元はとうとうこの食糧不足には人間も関係しています。森林伐採やゴミの不法投棄です。だから一概にクマが悪いとばかりは言えないのです。

そしてこの事実を知っている人は世の中にたくさんいるのです。また森を守ろうとしている人もいます。なぜその人たちの思いはなかなか報われないのでしょうか。

もっと視野を広げてみましょう。世界にはクマのように人間が勝手に作り上げた「印象」によって絶滅に追い詰められている動物たちがいます。

例えば、ゴリラやオオカミなどは、私たち人間の手によって種が絶滅する事態になっているのです。これらの事実は動物好きのわたしにとって大変心が痛むことです。

更にネットで調べてみると、本で調べたりすると、どの著者も絶滅の原因が人間の社会活動との関連性を指摘しています。

クマの話題の時と同じようにこの事実を知っている人や改善のために行動を起こしている人もたくさんいます。でも行動をしている人は世界にどの位いるのでしょうか。逆に何も考えていない人の数の方が多いのではないのでしょうか。結局は、この原因の改善のために行動を起こしている人たちの思いも報われていないのではないのでしょうか。

私は読書が好きです。一時期ノンフィクションにはまっていた時がありました。それぞれの作品は、作者の人たちの思いがとても強く表れていました。地球上の事実を未来に残そうとする強い信念が感じられました。

では皆さん、皆さんは自分の思いをしっかり表現していますか。

もし表現できていない人がいればその原因は「心の中にゴミを溜め込んでいること」だと私は思います。このゴミは日々の私たちの心の中にも積もっていきます。常に自分の思いを表現し自分に正直に生きている人は周りの人に左右されず、信念を持って生きている人です。私が思うに、日本人の多くは心のゴミを溜めやすいのではないかと思います。このことは実際のゴミ問題にも強く結びついています。

私も様々な場面で人と違うことができず、例えば、道に落ちているゴミを見つけても見て見ぬふりをする事が何度もありました。

でも今の私は自分の大好きな読書を通じ、様々な思いを経験し、自分の判断で、周りに流されず行動できるようになりました。今は落ちているゴミを拾うだけでなく、ゴミの分別をしたり、買い物にもエコバッグを進んで使えるようになりました。

今私が行っている行動は、ゴミ問題を世界的規模で考えると大したものにもならないことかもしれません。しかしその行動が十年、百年と積み重なると、動物を救えるものになると思います。

人間の出すゴミで苦しんでいる事を真剣に考え、この改善を訴えている人はたくさんいました。しかし、この人たちの思いは報われているとは言えません。今この瞬間もゴミは増え続け、動物が苦しんでいます。

私はこれ以上、地球環境が悪化していく姿を見たくありません。罪のない動物たちやこの地球の生態系を守るために、皆さんも私と一緒にできることから始めませんか。